

資料提供	
令和6年2月29日	
課名	新型コロナウイルス感染症対策担当 (感染症・疾病管理センター)
担当者	西川
電話(直通)	082-513-3068
(内線)	3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和6年2月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 3月1日(金)～3月7日(木)は「子ども予防接種週間」!



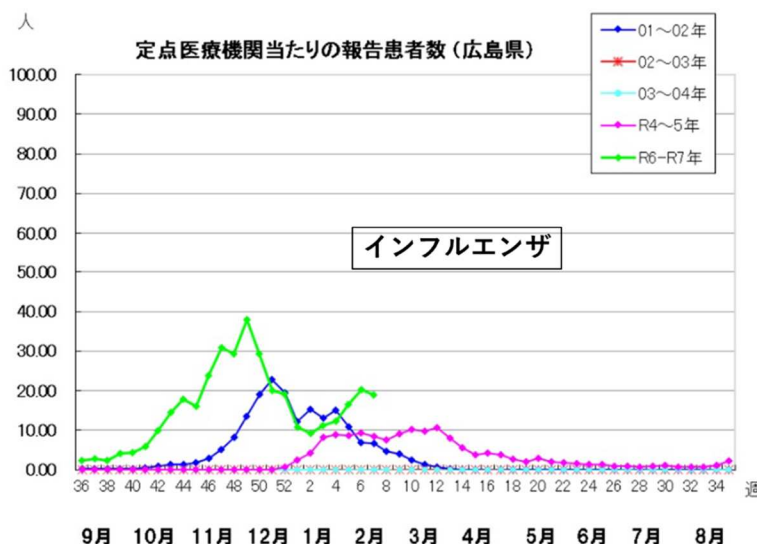
令和6年3月1日(金)から3月7日(木)までの7日間は、「子ども予防接種週間」です。この時期は、接種漏れを見直すのに最適な時期です。4月からの入園・入学に備え、必要な予防接種を済ませ、病気を未然に防ぎましょう。

- 予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められており、予防接種を延期すると、感染症にかかるリスクが高い状態となります。
- 予防接種に関する質問は、かかりつけ医に御相談ください。
- 予防接種が受けられる医療機関については、お住いの市町の予防接種担当課へお問合せください。
- 予防接種を希望される方は、医療機関へ事前に予約しましょう。

📍 予防接種を受けましょう。

- 医療機関や健診会場では、接種を行う時間や場所に配慮し、換気や消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めています。
- 子宮頸がん予防のためのHPVワクチンのキャッチアップ接種(平成9年度～平成19年度生まれの女性の方対象)を公費で接種できる期間は令和6年度末までです。接種を完了させるには約6か月の期間が必要になるため、令和6年9月末までに初回の接種を完了させてください。

(2) インフルエンザ警報発令中! その他の感染症にも要注意!



令和5年第46週(11月13日から11月19日)の県内定点医療機関からのインフルエンザの報告患者数が、西部東、東部及び北部保健所管内で、国立感染症研究所が示している警報開始基準値(定点当たり30)を上回りました。その為、令和5年11月24日に県内全域に「インフルエンザ警報」を発令し、現在も発令中です。また、現在「咽頭結膜熱警報」、「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報」、も発令中です。感染症流行の拡大防止の為に、マスク着用や手洗い等の感染予防の徹底をお願いします。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年1月分(令和6年1月1日～令和6年2月4日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	6,737	11.97	10.07	↓	11	ヘルパンギーナ	6	0.02	0.05	↓
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	6,434	11.43		↑	12	流行性耳下腺炎	5	0.01	0.05	
3	RSウイルス感染症	26	0.07	0.33	↗	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.00	
4	咽頭結膜熱	691	1.98	0.34	↓	14	流行性角結膜炎	105	1.11	0.35	↘
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,042	2.99	0.85	↘	15	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
6	感染性胃腸炎	2,804	8.03	6.42	↗	16	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
7	水痘	50	0.14	0.15	↑	17	マイコプラズマ肺炎	7	0.07	0.06	
8	手足口病	78	0.22	0.25	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	4	0.01	0.13		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.09	
10	突発性発しん	62	0.18	0.24	↗	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年1月分(1月1日～1月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	77	3.35	3.08	↗	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	3.48	3.30	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	26	1.13	1.04	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.14	
22	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.73	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.02	
23	淋菌感染症	31	1.35	1.50	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	新型コロナウイルス感染症(covid-19)	(3.76 → 11.43)
○急減疾患	水痘	(0.07 → 0.14)
	インフルエンザ	(26.62 → 11.97)
	咽頭結膜熱	(4.13 → 1.98)
	ヘルパンギーナ	(0.08 → 0.02)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内176の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	70	19	23	21	176

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	19	結核(19)[西部保健所(4)、西部東保健所(3)、東部保健所(4)、広島市保健所(3)、福山市保健所(5)]
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)[広島市保健所(1)、福山市保健所(1)]
四類	5	E型肝炎(1)[福山市保健所(1)] レジオネラ症(4)[西部保健所(1)、西部東保健所(1)、広島市保健所(2)]
五類	43	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(4)[西部東保健所(3)、呉市保健所(1)] クロイツフェルト・ヤコブ病(1)[広島市保健所(1)] 急性脳炎(4)[東部保健所(2)、広島市保健所(2)] 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(7)[西部保健所(1)、広島市保健所(4)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)] 侵襲性肺炎球菌感染症(4)[広島市保健所(3)、福山市保健所(1)] 播種性クリプトコックス症(1)[広島市保健所(1)] 梅毒(20)[西部保健所(1)、東部保健所(2)、広島市保健所(6)、呉市保健所(4)、福山市保健所(7)] 百日咳(2)[西部東保健所(2)]

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2024年1月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
二類	結核	19												19
	小 計	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2												2
	小 計	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
四類	E型肝炎	1												1
	A型肝炎	0												0
	エムポックス	0												0
	つつが虫病	0												0
	デング熱	0												0
	重症熱性血小板減少症候群	0												0
	日本紅斑熱	0												0
	日本脳炎	0												0
	マラリア	0												0
	レジオネラ症	4												4
	レプトスピラ症	0												0
小 計	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
五類全数	アメーバ赤痢	0												0
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0												0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4												4
	急性弛緩性麻痺	0												0
	急性脳炎	4												4
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1												1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7												7
	後天性免疫不全症候群	0												0
	ジアルジア症	0												0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0												0
	侵襲性肺炎球菌感染症	4												4
	水痘(入院例)	0												0
	破傷風	0												0
	梅毒	20												20
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0												0
	百日咳	2												2
	風しん	0												0
	播種性クリプトコックス症	1												1
	麻しん	0												0
小 計	43	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	
合 計	69	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	69	

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

- 一類： エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
- 二類： 急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
- 三類： コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
- 四類： E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムポックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ペネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
- 五類全数： アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和6年1月1日～2月19日

資料作成：令和6年2月20日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	判定保留	検査中
105	110	92	13	0	5

2 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	38	38	鼻咽頭, 咽頭	R5.12月～R6.1月	0～64	西部東, 東部, 東部(福山)
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +AH1pdm型インフルエンザウイルス	1	1	咽頭	R6.1月	10	東部
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	11	11	鼻咽頭, 咽頭	R6.1月～2月	1～74	西部東, 東部, 福山市
	AH1pdm09型インフルエンザウイルス +新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	咽頭	R6.1月	28	東部
	AH3型インフルエンザウイルス	9	9	鼻咽頭, 咽頭	R6.1月	10～47	西部東, 東部, 東部(福山), 福山市
	AH3型インフルエンザウイルス +AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R6.1月	1	西部東
	B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	21	21	鼻咽頭, 咽頭	R6.1月～2月	3～17	西部東, 東部, 東部(福山), 北部, 福山市
感染性胃腸炎	ノロウイルスGⅡ NT	3	3	便	R6.1月	0, 1	西部東
	ノロウイルスGⅡ.7	1	1	便	R6.1月	14	西部東
咽頭結膜熱	アデノウイルスNT	1	1	咽頭	R6.1月	1	西部東

3 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R6.1月	14	西部東
	B型インフルエンザウイルス(系統NT)	1	1	鼻咽頭	R6.1月	5	西部東
発熱	AH3型インフルエンザウイルス +新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R6.1月	15	北部
メタニューモウイルス感染症	メタニューモウイルス	1	1	鼻咽頭	R5.12月	5	西部東

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

4 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和6年1月1日～2月19日）

保健所地区	検体数	疾患名（検体数）
西部	0	
西部(広島)	0	
西部(呉)	0	
西部東	53	新型コロナウイルス感染症(18), インフルエンザ(20), 感染性胃腸炎(5), 咽頭結膜熱(1), 上気道炎(6), 下気道炎(2), メタニューモウイルス感染症(1)
東部	31	新型コロナウイルス感染症(20), インフルエンザ(11)
東部(福山)	7	ダニ類媒介感染症(2), 新型コロナウイルス感染症(1), インフルエンザ(4)
北部	5	インフルエンザ(3), 発熱(2)
福山市	8	インフルエンザ(6), 咽頭結膜熱(2)
呉市	6	デング熱疑い(2), ダニ類媒介感染症(1), その他(3)

病原体（細菌）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

資料作成：令和6年2月20日

対象期間：令和5年10月1日～令和6年1月31日に依頼されたもの

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 保健所別検査依頼受付状況

保健所地区	菌株数	疾患名（菌株数）
西部	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症（1）、バンコマイシン耐性腸球菌感染症（1）
西部(広島)	0	
西部(呉)	0	
西部東	4	腸管出血性大腸菌感染症（1）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（2）、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（1）
東部	0	
東部(福山)	0	
北部	1	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（1）
福山市	2	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（2）
呉市	0	
合計	9	

2 三類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断年月日	患者の年齢	発生地区	菌種	性状
腸管出血性大腸菌感染症	R5. 11. 15	38	西部東	<i>Escherichia coli</i>	血清型：O157:H7、ペロ毒素型：VT1・2、MLVA型：23m0628

3 五類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断年月日	患者の年齢	発生地区	菌種	性状
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	R5. 8. 17	84	福山市	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class A、β-ラクタマーゼ遺伝子型：SHV, CTX-M-2 group
	R5. 9. 25	77	北部	<i>Escherichia coli</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class A、β-ラクタマーゼ遺伝子：CTX-M-9 group
	R5. 10. 20	96	西部東	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class A、β-ラクタマーゼ遺伝子型：DHA, SHV
	R5. 11. 14	73	福山市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class C、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	R5. 12. 2	74	西部	<i>Enterococcus faecium</i>	耐性型：VanA型、耐性遺伝子：VanA
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	R5. 10. 6	74	西部東	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：G群、emm型：stG6792.3
	R5. 11. 30	57	西部	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：B群、T血清型：Ⅲ群
	R5. 12. 26	86	西部東	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：G群、emm型：stG6792.3

4 コメント

劇症型溶血性レンサ球菌ではM1UK株は検出されず、特定の型が増えている状況も確認できませんでした。